

お客様へ

無償修理のお詫びと使用上の注意のお知らせ

＜GSX-R1000（GSX-R1000RL7）ECM交換及びドライブチェーン点検対策＞

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素はスズキ車のご愛用を賜り、有り難く厚くお礼申し上げます。さて、この度、お客様のご愛用車におきまして、下記のリコール（無償修理）を実施させていただくこととなりました。お客様には多大なご迷惑、ご心配をおかけいたしますこと、心からお詫び申し上げます。 謹白

1. 不具合の内容

エンジン制御コンピュータのプログラムが不適切なため、1速から2速への変速時にギアが2速に入らずニュートラルになった時に、スロットルを開けるとエンジンが空ぶかし状態となり、その状態でクラッチを切らずに2速に入れ直すと、動力伝達装置に過大な力がかかります。そのため、ドライブチェーンが異常に伸び、最悪の場合、外れるもしくは切れて走行不能となるおそれがあります。

2. 修理の内容

全車両、エンジン制御コンピュータ（ECM）を対策品と交換します。また、ドライブチェーンの異常伸びの有無を点検し、異常伸びが認められた場合は、ドライブチェーン、エンジンプロケット、リヤプロケットを新品に交換します。

3. お客様へのお願い

改善措置用部品の準備に時間を要するため、部品の準備が整い次第、改めて無償修理実施についてご案内いたします。それまでの間は大変申し訳ございませんが、ご使用の際には以下についてご注意をお願いします。

【上記1. のような操作を経験されたお客様】

- ・ 申し訳ありませんが、至急、最寄りのスズキ販売店にご連絡いただき、ドライブチェーンに異常な伸びがないか点検を実施してください。

【車両チェック】

- ・ ドライブチェーンをチェックして、伸びが確認された時は適切に調整して下さい。

【クイックシフト機構を使用していない場合】

- ・ チェンジ操作は、クラッチを握ってコツンと感じるまで確実に行って下さい。特に、1速から2速にシフトアップする時は注意してください。
- ・ 1速から2速にシフトアップする時、ニュートラルに入りエンジンが吹け上がってしまった場合は、クラッチを切ると同時にスロットルを閉じ、エンジン回転が十分に下がったことを確認のうえ再度2速にシフトください。

【クイックシフト機構を使用している場合】

- ・ チェンジ操作は、コツンと感じるまで確実に行って下さい。特に、1速から2速にシフトアップする時は注意してください。
- ・ 1速から2速にシフトアップする時、ニュートラルに入りエンジンが吹け上がってしまった場合は、スロットルを閉じ、エンジン回転が十分に下がったことを確認のうえ再度2速にシフトください。